

現行



- ・対距離制運賃
おとな100円～270円
- ・現金 + 交通系 I C

H 2 2 年 4 月 ~ 導 入



- ・均一運賃
おとな200円
- ・現金のみ

- ・ところバスの運賃収入の内訳 (R 5 年度)

現金 約 3 5 % (約 1,244 万円) : I C 約 6 5 % (約 2,343 万円)

- ・国土交通省によるアンケート調査 (R 4 年 3 月 実施)

バスの利用時に交通系 I C (モバイルを含む) で支払う人の割合 = 7 0 % 超

【参考】 <https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/content/001488012.pdf>

- ・所沢市地域公共交通計画 (R 5 年 3 月 策定)

施策08 (2) バスロケーションシステム等の導入

「バスロケーションシステム、キャッシュレス決済システム等を導入することにより、各公共交通をスムーズにストレスなく利用できる環境の整備を進めます。」

A : 交通系 I C 決済を導入する場合

メリット

- ・支払の選択肢が増えることによる利便性の向上
- ・スムーズな決済による定時性の向上
- ・キャッシュレス世代の利用誘発
- ・現金取扱いが減ることによる乗務員の負担軽減

デメリット

- ・導入の初期コスト、ランニングコスト、決済手数料のコストが発生
(試算) 5 年間で約 2 5 0 万円

B : 交通系 I C に加えて、バーコード決済・クレジットカード決済を導入する場合

メリット

- ・支払の選択肢が増えることによる利便性の向上
- ・海外からの旅行者の利用可能性の拡大
- ・キャッシュレス世代のさらなる利用誘発
- ・現金取扱いが減ることによる乗務員の負担軽減

デメリット

- ・導入の初期コスト、ランニングコスト、決済手数料のコストがさらに上昇
(試算) 5 年間で約 2 9 0 ~ 3 5 0 万円
- ・支払方法が複雑になることによる乗務員、経理担当者の負担増加

ところバスもバーコード決済、クレジットカード決済に対応することになった場合、車載料金器の入れ替えで多額の費用が発生する可能性あり。

事務局としては「A : 交通系 I C 決済」のみで、導入に向けた検討を進めたい。